

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

重要な会計方針は次のとおりである。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産及び無形固定資産……定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

賞与引当金……職員の賞与の支給に備えるため、当期に帰属する見込額を計上している。

退職給付引当金……職員の退職給付の支給に備えるため、期末自己都合要支給額に相当する金額から、中退共からの支給額を控除した金額を計上している。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
預金	208,562,542	87,000,000	208,110,600	87,451,942
投資有価証券	757,237,458	110,600	79,000,000	678,348,058
小 計	965,800,000	87,110,600	287,110,600	765,800,000
特定資産				
退職給付引当資産	9,431,548	821,626	3,817,899	6,435,275
翌年度前期事業運営積立預金	80,000,000	80,000,000	80,000,000	80,000,000
事業運営安定化基金	100,000,000	200,000,000	47,000,000	253,000,000
減価償却引当預金	19,004,387	0	550,800	18,453,587
小 計	208,435,935	280,821,626	131,368,699	357,888,862
合 計	1,174,235,935	367,932,226	418,479,299	1,123,688,862

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
預金	87,451,942	( 0)	( 87,451,942)	( 0)
投資有価証券	678,348,058	( 50,000,000)	( 628,348,058)	( 0)
小 計	765,800,000	( 50,000,000)	( 715,800,000)	( 0)
特定資産				
退職給付引当資産	6,435,275	( 0)	( 0)	( 6,435,275)
翌年度前期事業運営積立預金	80,000,000	( 0)	( 80,000,000)	( 0)
事業運営安定化基金	253,000,000	( 0)	( 253,000,000)	( 0)
減価償却引当預金	18,453,587	( 0)	( 18,453,587)	( 0)
小 計	357,888,862	( 0)	( 351,453,587)	( 6,435,275)
合 計	1,123,688,862	( 50,000,000)	(1,067,253,587)	( 6,435,275)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	13,122,201	5,353,253	7,768,948
什 器 備 品	32,475,456	25,673,614	6,801,842
ソフトウェア開発費	37,908,165	36,531,705	1,376,460
合 計	83,505,822	67,558,572	15,947,250

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国債及び政府保証債	678,348,058	752,800,210	74,452,152
合 計	678,348,058	752,800,210	74,452,152

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	700,000
合 計	700,000